

意見

日本文藝家協会では、著作物を利用しての音声の自動認識に関する研究やコーパスのための利用につきましては、現在は個々に使用許諾をだし然るべき対価をいただくことといたしております。

「研究開発における情報利用の円滑化について」はその対象となる「研究開発」についての明確な定義を求めます。また「研究開発」の名のもとに著作者の権利を不当に害しないように今後の慎重な討議を求めます。